

庁議記録

日 時 令和2年1月22日（水）

16:00～16:25

場 所 テレビ会議室

【浦本副知事】

ただいまから庁議を開催します。まず、保健福祉部長から「新型コロナウイルスに関連した肺炎について」説明をお願いします。

【保健福祉部長】

新型コロナウイルスに関連した感染症につきましては、昨年12月以降、中国の武漢市において患者が確認され、1月16日には日本でも感染者が確認をされております。

さらなる感染拡大の防止に向けまして、道では対策を強化いたしますとともに、道民の皆様や関係機関への注意喚起を徹底し、対応の協力を依頼して参りたいと考えております。

資料をご覧ください。1の発生状況につきましては、昨日6時の時点の資料でございます。

2の国の対応でございますが、昨日開催されました関係閣僚会議で確認されております。着実な検疫の実施について、質問票の配布、機内アナウンスの拡大等を新たに追加し、対策が強化されております。この新型ウイルスは不明の部分も多く、国におきまして、WHOなどと連携をしていくとのこととあります。

3の道の対応ですが、国の検疫等の水際対策に加えまして、国内での感染の症状が現れた感染者の、早期発見と対応による感染拡大防止を徹底することが重要でありますことから、保健所、医療機関の対応等を徹底しております。

感染拡大を防ぐためには、心配な症状のある方が、マスク着用の上、速やかに受診をしていただくこと、また、日頃からの咳エチケットや手洗い等の基本的な感染症対策を行うことが重要であります。これまでもホームページ等により、道民の皆様への注意喚起を行い、報道機関にも取り上げていただいておりますが、さらに春節を迎え、周知徹底をしっかりと図って参りたいと考えております。

2枚目に、人に感染する新型コロナウイルスについて一般的な情報を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。以上です。

【浦本副知事】

この件について知事から発言をお願いします。

【知事】

今回の新型コロナウイルスについては、本当に道民の多くの皆さんが不安を持っていると思います。今後の感染拡大の防止に向けて、道民の皆様、関係機関の皆様が正しい知識を持ち、適切な対応をしていただくことが重要であります。

また、さっぽろ雪まつりなど冬の観光シーズンを迎え、先ほどお話にありました春節などの時期に、多くの方々が来道されることが見込まれておりますので、本日中に、札幌市と連携して宿泊施設や関係団体に注意喚起の文書を発出するなど、対策の強化をお願いいたします。

道民の皆様に対しては、手洗いやマスクなどの基本的な感染予防を徹底していただきたいと思っておりますし、心配な症状のある方は受診をしていただくよう注意喚起を行うなど、庁内各部の連携を図り、報道機関の皆様にもご協力をいただきながら、迅速かつ的確な情報提供を行って欲しいと思っております。皆さんよろしくお願ひいたします。

【浦本副知事】

それでは続きまして、「2020年の主な取組について」であります。

画面の「2030年に向けたロードマップ」は、12月18日の庁議で配布したものですけれども、ご覧のとおり、今年はウポポイの開設、東京2020オリンピックのマラソン等の札幌開催などが続く、非常に重要な1年となります。そのスタートを切る取組について、関係各部から報告をしていただきます。

まずは、空港戦略推進監から説明をお願いします。

【空港戦略推進監】

道内7空港の民間委託でございます。先週からいよいよ30年間の委託がスタートし、まずは関係部局の皆様、そして、振興局の皆様、ご協力いただきどうもありがとうございます。

資料1-1がスケジュールでございます。昨年10月に実施契約を締結いたしまして、先週1月15日に7空港一体のビル経営開始、そして1月18日には、七つの空港で一斉に民間委託スタートの式典が開催されたところでございます。

資料の右側、今後でございますけれども、滑走路等の運営は新千歳ほか、来年3月に掛けて順次民間に委託されるということになりますが、先週をもって民間委託は基本的にはスタートを切ったということでございます。

先週の新千歳空港における式典におきまして、資料1-2にございますパートナーシップ協定というものを締結してございます。空港を核とした地域活性化について、北海道エアポートと北海道、そして、空港所在自治体との間で締結し、地域活性化に取り組むということにしております。

今後、航空ネットワークの充実強化や、広域観光の振興、そして地域活性化など、北海道エアポート任せにせず、北海道含めた関係者が、引き続き連携、協力して行くことが重要でございます。そのための連携を図るための協議の場として、7空港一体の協議会、そして空港ごとの協議会を設置して進めますのでよろしくお願いいたします。

その際、まずは、道庁内の関係部局の皆様、そして北海道エアポートとの連携が重要でございます。航空関係、観光、道産品のPR等につきましても、スケジュールを含めて、各関係部局の皆様、振興局の皆様と一層情報共有を図りながら取組を進めて参りたいと思いますので、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。以上でございます。

【浦本副知事】

それでは続いて環境生活部長からお願いします。

【環境生活部長】

環境生活部でございます。縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けた動きについて、簡単にご説明をいたします。

まず、経過についてでございますが、この取組は平成19年の北海道北東北知事サミットでの合意をきっかけに共同で取り組んできております。

昨年12月20日に、ユネスコへの推薦が閣議了解をされまして、先週16日には、推薦書が提出され受理をされました。登録までのスケジュールにつきましては、ユネスコでの推薦書の受理を受けまして、審査機関であるイコモスによる審査が約1年半行われ、順調にいけば、2021年の夏に世界遺産の登録ということになります。

これまでの取組につきましてですが、北東北3県と連携した首都圏や海外でのPR事業を実施しておりますほか、道独自事業といたしましても、講演会や土偶の展示イベントなどを開催をしているところでございます。

今後の対応方向についてでございますが、まず、今年9月頃に予定をされておりますイコモスの現地調査に向けて万全の準備を備えるとともに、調査のポイントの一つとなる遺跡の保存管理体制について整備

充実を図る考えであります。

次に、縄文遺跡群の国内外におけるさらなる知名度向上に向けまして、ＪＲ駅や空港など主要な交通拠点におけるＰＲや、映像コンテンツによる情報発信等を行うこととしております。

最後に、登録後を見据えた活用方策につきまして、有識者検討会を開催して、来訪者の受け入れ体制整備、アクセスの改善、観光資源と連携した周遊ルート設定、アドベンチャートラベルとの連動などの検討を進めていく考えでございます。

対応方向にお示した事項につきまして、引き続き各部、各振興局のご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

【浦本副知事】

それでは続いて、アイヌ政策監からお願いします。

【アイヌ政策監】

イランカラテ。4月24日のウポポイのオープンまで本日で残り93日となりました。各部、各振興局には、ウポポイ開設に向けた気運の醸成や、誘客促進に向けた働きかけなど、全庁的に取り組んでいただき感謝を申し上げます。

それでは資料3「ウポポイのオープンに向けた取組について」をご覧くださいと思います。施設の整備は順調に進められておりまして、年末にはマスコミへの内覧会が開催され、現在は展示品の搬入準備のほか、体験プログラムの開発などが進められております。

昨年からの受付が開始されました教育旅行の団体予約は、すでに3万人を超えておりまして、小・中学校では旧アイヌ民族博物館の年間入場者数を上回っております。これからもまだまだ伸びると見込んでおります。

また、資料には記載しておりませんが、ＪＲにおきましては、3月14日のダイヤ改正から、白老駅に停車をいたします特急列車が、上下12便から31便へと大幅に増便されますほか、白老駅前広場やアクセス道路などの周辺整備は年度内に完成予定でございまして、受け入れのための環境も整ってきてございます。

中段の「これまでの取組」につきましては、一部しか掲載できず恐縮ではございますけれども、これまで関係部局のご協力をいただきまして、各種イベントなど様々な機会を通じてウポポイのＰＲをしていただいております。

また、知事から記者会見でご紹介をさせていただいておりますけれども、民間企業におきましても、工夫を凝らした様々な取組が進められておりまして、応援の輪が着実に広がっております。

今後開設までは、さっぽろ雪まつりをはじめとした集中的なＰＲなど取組を強化し、機運を盛り上げながら、オープン後にはウポポイへの実際の誘客に結びつくように、より具体的な情報発信や来訪意欲の向上など、継続的に取組を展開していかなければならないと考えてございます。

ウポポイに多くの方々にお越しいただくことにより、アイヌ文化の復興・発展はもとより、本道の観光振興や地域の活性化につなげてまいりたいと考えておりますので、引き続き各部、各振興局におかれましても、幅広く関係団体や地域に対するアピールをお願い申し上げます。以上でございます。

【浦本副知事】

このウポポイでありますので、オープンを控えておりますので、せっかくの機会ですから、地元の胆振総合振興局の方で何かご発言ありますでしょうか。

【胆振総合振興局】

胆振です。私どもは、特に認知度向上のＰＲということを集中的にやっております。管内の冬のイベントに出向いてグッズを配りながら、ＰＲを展開しております。

このほか、地域FMでコマーシャルを流すですとか、番組に出演してPRする、フリーペーパーに広告を掲載するといった準備をしているところです。

このほか、先月知事に政策提案しました、100万人に達するアクションプランの取組を準備しつつ、組織一体でやれるように、振興局独自の組織を作る検討もしています。

オープンに向けて、取組を強化してきますので、他の地域で何かPRできるイベントがあれば、ぜひお知らせいただきたいと思います。専用の法被を着てPRに伺います。以上です。

【浦本副知事】

はい、ありがとうございます。これまで各部から、当面のイベントについてご説明をいただきましたけれども、ウポポイ以外につきましても何かご発言等ございますか。よろしいですか。

そうでしたら、知事から一言お願いいたします。

【知事】

令和2年、2020年の主な取組として、道内7空港の一括民間委託のスタート、そして、縄文遺跡群のユネスコへの世界遺産登録推薦、ウポポイのオープンについてのご報告がありました。

私も、あらゆる場面で申し上げていることですが、令和2年、2020年は、次々と大規模なプロジェクトが開催される、行われる年であります。

先ほど画面に写った「2030年までのロードマップ」は、私が10年間で俯瞰してということで、よくこの場でも申し上げてきましたけれども、そのスタートを切る年というのが2020年と言えると思っております。そういった意味からも大変重要な1年ということでもあります。

こうした大きなチャンスで、しっかりと逃さずにとらえて、そして、先ほどそれぞれのプロジェクトの話がありましたが、それぞれの大規模なプロジェクトを単発で終わらせるということではなく、それぞれの成功が次の成功を呼び込むという、そういった成功の連鎖へと繋げていきたいと思っています。

このためには、道庁自身も時代の変化に対応して、組織のあり方ですとか、また仕事の進め方などについても進化をしていく、そういったことが必要だと思っています。

特に限られた政策資源の中で、職員の皆さんとともに、部長から新人まで様々な立場の職員がいるわけですが、その一人一人が意欲をもって働くことができ、そして持っている能力を最大限発揮できる、そういう職場作りを進めていくことが重要ですし、道庁を働きやすい、そして働き続けたいという組織にしていきたいと思っています。

これは、年頭の挨拶の中でお話ししたことと重なってしまうんですけども、今後の政策展開にあって、私は各部局の横串連携を進め、政策を総動員することによって、道庁の総合的な組織力を発揮すること、それと地域の課題を的確に把握をし解決するため、地域や民間と協働する力を結集するなど、民間のノウハウを最大限活用すること、この2点が重要であると考えています。

こうした視点を皆さんにもしっかりと共有をしていただきまして、オール道庁で取り組んでいきたいと考えていますので、各幹部職員の皆様には、そういった二つの視点、重要な点を認識していただき、取組を加速していただきたいと思っています。私からは以上です。

【浦本副知事】

ありがとうございます。私からも、ただいまの知事のご発言を受けまして、皆様に一言お話をさせていただきます。

ただいま知事からご発言ございましたけれども、こうした知事の思いを受けとめまして、新たな時代に即した政策を効果的に展開し、職員の皆さんが働きやすい道庁を作り上げていくために、これまで、職員の皆さんのご協力をいただきながら、政策や予算、人事などを中心に仕事の進め方等について議論を行い、できるものから順次取り組んできたところであります。

今般、すでに取り組んでいるものに加えまして、今後の取組について、私の方でそれぞれの部局のご協

力をいただきながら取りまとめましたので、ここで皆さんと共有を図りたいと思います。

ただいま画面にも出てございますが、資料にございますとおり、取組につきましては、「戦略的道政の展開」、「道職員の底力をフル発揮」、さらには「内外の知恵と力の結集」この三つに整理いたしました。

まず一つ目の「戦略的道政の展開」では、政策の検討や実施、評価にあたっての取組を整理しております。主に、現在取りまとめております、来年度の政策の検討にあたって、これまで行って参りました取組を整理したものとなっておりますが、今後、政策の質と効率性の向上を目指した事務事業の点検評価などについても検討したいと考えています。

次に、真ん中にごございます「道職員の底力をフル発揮」であります。職員が働きやすい、そして能力を最大限発揮できる職場づくりに向けた取組を進めて参りたいと考えています。具体的にはグループ制の見直しによる人材育成機能等の強化などについて、来年度の組織機構に反映していくほか、知事と職員によるコミュニケーションキャンプなどに取り組むとともに、現在検討を進めておりますSmart道庁を本格的にスタートさせたいと考えています。

そして、一番右側にごございます「内外の知恵と力の結集」であります。市町村や民間、国との連携、協働などの取組を整理してございます。本年度から実施しております知事のスクラムトークを進めるとともに、今後、市町村のニーズにこたえられる新たな人的支援を検討したいと考えております。

また、ほっかいどう応援団会議のネットワークを拡大しつつ、企業版ふるさと納税の活用を一層進めるほか、国への提案要望をより適時適切に行うなど、内外のあらゆる政策資源の効果的な活用についても進めていきたいと考えております。

以上のおり整理をしたところでありますけれども、今後、本道が直面する課題を克服していくために、知事と職員が一体となった強靱な組織としていきたいと考えております。これらの取組で全てということではなく、この他の分野、そして、これからさらに改善を進める必要がある取組など、引き続き不断の見直しを進めて参りたいと思います。

皆さんからも、道庁の組織業務の進め方に関するアイデア、そして、ご意見などがあれば遠慮なく教えていただき、今後、オール道庁、チーム道庁で進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。私からは以上であります。

この他に、何かご発言はございますでしょうか。ないようでしたら、最後に知事から一言お願いいたします。

【知事】

ただいま副知事の方から説明をしていただきましたけれども、私からも付け加えてさせていただきたいと思っております。

私が夕張市の市長をやっていたときも職員に言っていたのですが、道庁は職員にとって、人生の多くの時間を過ごす、そういった場所です。そういった意味では、家族と過ごす時間などと比較しても、本当に多くの時間をこの道庁という組織の中で過ごすこととなります。ですから、私は職員一人一人が、やはり意欲とプライドを持って働くことができる、そういった職場環境を皆と作っていききたい、そして作って欲しいと心から思っています。

どうしても仕事の効率化ということばかりに目が行くところもあるのですが、やはり仕事以外の面でも、家族の皆さんと過ごす大切な時間ですとか、それがしっかり確保できる職場づくりなどを、皆で進めていかなければいけないと思っております。ですから、ぜひいろいろなアイデアを出して欲しいと思っています。

また、私も年末から年明けにかけて、色々な方々とお会いして、お話をさせていただく機会もあつたのですが、ボランティアや地域活動などに積極的に取り組んでおられる、北海道のために様々な場面で貢献をしている、そういった北海道の職員がたくさんいると思っています。

ですから、私はこの道庁を、仕事はもちろんですけども、生活の両面にわたって働きやすい、そしてやりがいを感じるという組織に、皆さんとしたいと思っています。

そのような道庁に変わっていくためには、やはり、非常に大きな組織ですから、皆さんと一緒にアイデ

アイデアを出し合って、力を合わせその改善に取り組んでいくということが非常に重要です。ある意味、トップダウンでこうするべきだということも、もちろん時には必要ですけれども、組織力を発揮するという意味では、本当に一人一人にぜひアイデアを出していただきたい、そして教えていただきたいと思っています。

まずは本日は庁議ですから、出席いただいている幹部の皆さんの意識、そして行動が何より大事ですので、積極的に職員の改善案や考え方、声、いろいろなものを拾い上げて欲しいと思っています。

これは、言うは易し行うは難しで、仕事もみんな忙しいですし、大変な部分もありますけれども、やはり非常に重要なことだと思いますので、改めて皆さんにはそういった認識を持って欲しいと思っています。

そして話は変わりますが、昨日、部長及び振興局長の皆さんに集まっていただいて、職員の不祥事や不適切な事務処理の再発防止に向けた会議が開かれました。

先ほど申し上げた取組についても、道民の皆様のご信頼あってこそであります。これは私が言うまでもないことですし、皆様強くそういった意識を常日頃持っていると思います。詳細は私の方から繰り返しこの場では申し上げませんが、再発の防止に向けて、職員一人一人が公務員としての使命と責任感、自覚をして行動することが何よりも重要です。幹部の皆さんに、改めて部下の職員の意識づけに対する指導、監督をお願いしたいと思います。

これから年度末に向け、様々な事業の総仕上げに取り組んでいくという大切な時期になります。皆さんには事業執行の責任者として、自らを律する、不祥事や不適切な事務処理を繰り返さないという決意を持ちながら業務を進めていただきますよう、重ねてお願いをいたします。

ぜひ皆さんから積極的なアイデアや、考え、職員の皆さんからの声、そういったものをぜひ挙げていただきたいなと思っています。私からは以上です。

【浦本副知事】

ありがとうございます。以上をもちまして本日の庁議を終了いたします。お疲れ様でございました。